

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

生涯学習課

件名	鹿島市文化財防火デー 防火訓練を実施します
アピールポイント	<p>毎年1月26日は、「文化財防火デー」です。 文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁面が焼損したことを契機としています。毎年この日を中心に、全国各地で防火訓練などの文化財防火運動を展開しています。 今回鹿島市では、「赤門」として市民に親しまれている鹿島城赤門(県立鹿島高校校門)を対象に、防火訓練を実施します。 なお、「赤門」が防火訓練の対象となるのは24年ぶりです。</p>
説明	<p>目的等 貴重な文化財を火事や地震などの災害から守り、日頃なじみの少ない文化財に対して、市民の愛護精神と関心を高めようとするものです。</p> <p>日時 令和2年1月26日(日) 10:00~11:00 ※鹿島市では毎年1月26日に近い日曜日に開催</p> <p>場所 佐賀県重要文化財 鹿島城赤門</p> <p>内容等 10:00 出火想定 放水開始(消火活動) 10:20 鎮火想定 10:30 文化財の紹介 訓練講評 訓練終了</p> <p>主催 鹿島市・鹿島市教育委員会 鹿島消防署・鹿島市消防団(鹿島分団)</p>
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	教育委員会 生涯学習課
氏名	社会教育文化係 江島
TEL	63-2125
FAX	63-2313
Mail	shougai09@city.saga-kashima.lg.jp

鹿島城赤門及び大手門(2棟)

(附)赤門の続塀及び大手門の続塀 4 棟 赤門棟札(文化 5 年の銘あり)1 枚

所在地 鹿島(城内)

鹿島藩 2 万石の居城であった鹿島城は、文化 4 年(1807)に北鹿島の常広城から移転したものです。明治 7 年(1874)の佐賀戦争(佐賀の乱)の混乱によって、城の主要な建物はほとんど焼失してしまい、当時のまま現存しているのは赤門と大手門のみとなっています。

赤門は本丸御殿の正門で、古くから丹塗りであることから「赤門」として市民に親しまれています。門の構造は、屋根が切妻造り棧瓦葺きで「薬医門(やくいもん)」という形式の門で、正面右側には番所が附属します。赤門の修理の時に発見された棟札には「天神地祇八百万神守護御門安全 城主藤原朝臣直彝 文化五戊辰閏六月廿八日」と書かれてあり、鹿島城が落成して 1 年後の文化 5 年(1808)の建立と分かります。現在は、県立鹿島高等学校の校門として使用されています。なお、棟札の発見を記念して昭和 7 年(1932)から、学校祭である「赤門祭」が開催され、現在までその伝統は続いています。

大手門は、屋根が切妻造り本瓦葺きで「高麗門」という形式の門で、背後の控え柱の上にも小屋根をかけます。昭和 27 年(1952)に、現在の丹塗りに塗り替えられました。

これらの門はともに飾り金具は少なく、極めて簡素ですが、使用された木材は太く、木組みや構えは雄大で、幕末の小藩の城門としては堂々としたつくりです。なお、両門ともに漆喰塗り棧瓦葺きの土塀が両側に附属しています。県内に残る数少ない城郭遺構として貴重です。

